

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年9月5日

【観測結果（調査日：8月23、24、29日）】

8月23日と24日に伊勢湾、29日に渥美外海の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P1～A10）】

気温の上昇と日射の影響により、伊勢湾の海面は湾奥を中心に高水温となっています。一方で、伊勢湾湾口域は潮汐による攪乱によって、表層水温が周囲よりも低くなっています。クロロフィル a 濃度は陸域からの負荷が大きい湾奥部で最も高くなっており、黒潮系の暖水が波及している渥美外海の濃度が最も低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾では、気温の上昇、日射、および河川水の影響で高水温・低塩分の軽い水塊が表層を覆い、成層が発達しており、鉛直混合が妨げられています。さらに、湾央を中心にして水深 20m 以深は外海水の進入がみられず、酸素供給が極めて少ないため、貧酸素水塊（溶存酸素飽和濃度 30%以下）が分布しています。

渥美外海では、50m 以深で湧昇が生じているものの、栄養の乏しい黒潮系暖水が水深 30m 付近まで覆っており、表層～水深 30m 付近まで高温かつクロロフィル a 濃度が極端に低くなっています。



